平成３１～３２年度使用

都立特別支援学校（中学部）用

教　科　書　採　択　資　料

（特別の教科　道徳）

平成３０年７月

東 京 都 教 育 委 員 会

目　　　　　次

道　　徳　（聴覚障害特別支援学校）・・　1

（肢体不自由・病弱特別支援学校）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

　視覚障害特別支援学校については、全盲の児童と弱視の児童が一緒に学習するため、点字教科書の原典となっている文部科学省検定済教科書を採択する必要があるので、採択資料は掲載していない。

特別の教科　道徳（聴覚障害特別支援学校／中学部）

発行者の番号 略　　称		2 東書	11 学図	17 教出	38 光村	116 日文	224 学研	232 廣あかつき	233 日科
内容	聴覚障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる教材等について ① 聴覚障害の理解に関わる記述（手話等の多様なコミュニケーション手段に関するもの）があるもの ② 聴覚障害のある生徒が視覚的に理解しやすい具体的な内容であるもの	☆☆☆☆ 34 ① 3年「たとえぼくに明日はなくとも」では、聴覚障害者に関する記述があり、聴覚障害への理解につながる。(P179) ② 3年「合格通知」では、本文とともにスマートフォンの画面のイラストを示してあり、視覚的に理解しやすい。(P106)	☆☆☆ 22 ① 1年「小さな一歩」では、「手話コーラス」という記述があり、興味をもって取り組める。(P178) ② 3年「うるわしき伝統」では、登場人物の意見を段落別に示しており、個々の意見が理解しやすい。(P84)	☆☆☆ 19 ① 該当なし ② 1年「『いじり』？『いじめ』？」では、幾つかの状況を示したイラストを参考に、具体的な場面を想定して考えることができる。(P38)	☆☆☆☆ 32 ① 1年「ヘレンと共に―アニー・サリバン」では、視覚・聴覚障害者の意思伝達手段に関する記述があり、興味をもって取り組める。(P27) ② 3年「『知らないよ。』」では、学校生活の身近な場面を取り上げており、具体的な場面を想定して考えることができる。(P29)	☆☆☆☆ 28 ① 3年「自分・相手・周りの人」では、聴覚障害があることを表す耳マークを示している。(P125) ② 2年「ライバル」では、対話文で示しており、劇化することで体験的に学習ができる。(P112)	☆☆☆ 19 ① 3年「五井先生と太郎」では、聴覚障害者に関する記述があり、聴覚障害への理解につながる。(P155) ② 1年「あるピエロの物語」では、対話文で示しており、劇化することで体験的に学習ができる。(P28)	☆☆ 16 ① 2年「燃え盛る炎」では、聴覚障害者との関わりに関する記述があり、聴覚障害への理解につながる。(P37) ② 3年「アイツの進路選択」では、友達との関わりに関する内容やイラストから、自分に置き換えて考えることができる。(P72)	☆☆☆ 21 ① 2年「絶望からの生還」では、視覚障害と聴覚障害のある人の半生が述べられており、障害への理解につながる。(P177) ② 3年「ニュースで討論『支え合いは当たり前』」では、イラストとともに登場人物の様々な意見から、自分の考えを深める学習ができる。(P90)
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ① 言葉や音を聞き取る活動が含まれ、学習活動に困難が想定されるもの ② インタビュー等、会話が主体となる活動があり、学習の際に特別な支援が必要であるもの ③ 方言や特徴的な言い回し等を多用し、読解の際に説明が必要であるもの	★★★★ 29 ① 3年「缶コーヒー」では、イヤホンで音楽を聞いている場面があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P84) ② 3年「言葉おしみ」では、日常会話の中で挨拶に関する記述があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P16) ③ 1年「桜に集う人の思い」では、方言が多用されているため、説明が必要である。(P142)	★★ 12 ① 3年「命に響く『雅楽』東儀秀樹」では、楽器の音を聞き取る場面があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P25) ② 1年「ご挨拶の勧め」では、地域の人と挨拶を交わす場面があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P152) ③ 2年「『これ以上、がんばれない。』って平気な顔で言うな。」では、方言が多用されているため、説明が必要である。(P156)	★★ 10 ① 3年「テーブルの卵焼き」では歌声を聞き取る場面があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P120) ② 1年「おはよう」では、地域の人と挨拶を交わす場面があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P12) ③ 3年「憧れの消防団」では、方言が多用されているため、説明が必要である。(P128)	★ 4 ① 1年「銀色のシャープペンシル」では、合唱に関する記述があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P159) ② 2年「紙芝居」では、子供に紙芝居を読み聞かせる場面があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P194) ③ 1年「なおしもん」では、方言が用いられているため、説明が必要である。(P123)	★★ 11 ① 1年「いつわりのバイオリン」では、楽器の音に関する記述があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P188) ② 1年「篠崎街道」では、初対面の外国人と会話をする場面があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P166) ③ 3年「思いを伝えることの難しさ」では、断定を避ける「ぼかし言葉」の説明が必要である。(P50)	★ 6 ① 3年「笛」では、笛の音に聴き入る場面があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P55) ② 1年「挨拶しますか、しませんか」では、様々な場面での挨拶に関する記述があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P20) ③ 2年「黒蜘蛛の元次」では、「失礼するぜ」など特徴的な言い回しがあるため、説明が必要である。(P144)	★★ 12 ① 1年「地下鉄で」では、バスの車内アナウンスを聞く場面があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P96) ② 1年「半分おとな　半分こども」では、地域の人との挨拶に関する記述があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P29) ③ 2年「地図のある手紙」では、方言が用いられているため、説明が必要である。(P146)	★★★ 15 ① 2年「母のアナウンス」では、バスの車内アナウンスに関する記述があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P122) ② 1年「おはよう」では、地域の人と挨拶を交わす記述があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P44) ③ 3年「ひさの星」では、方言が用いられているため、説明が必要である。(P150)
構成上の工夫	その他 障害の状態に応じた事項 聴覚の障害を補えるように、写真、図絵等の視覚情報での説明がなされているもの	・ 1年「火の島」では、本文の内容に関連する写真を鮮明に示している。(P113) ・ 2年「住みよい社会に」では、資料の冒頭に考えるための観点を示している。(P20)	・ 1年「誰も知らない」では、資料の冒頭に主題を示すとともに、考えるためのポイントをマークで示している。(P6) ・ 2年「自分らしい多様な生き方を共に実現させるためにできること」では、本文の語句や内容等の理解を促すイラストや写真を示している。(P172)	・ 2年「短所を武器とせよ」では、資料の末尾に色付きの枠囲みで、話合い活動の要点を質問形式で示している。(P25) ・ 3年「歩きスマホをどうするか」では、主題を考えるための材料として、ポスターやグラフ、関連する規定などを示している。(P18)	・ 1年「自分で決めるって？」では、主題に対する考えを促す図やイラスト、吹き出しを示している。(P8) ・ 2年「宇宙の始まりに思いを寄せて」では、本文の内容に関連する写真を鮮明に示している。(P124)	・ 1年「部活の帰り」では、資料の冒頭に登場人物の顔を絵で示している。(P74) ・ 3年「『稲むらの火』余話」では、地図や実際の写真、本文の内容の理解を促すイラストを示している。(P84)	・ 1年「公平とはなんだろう」では、主題を考えるための材料として、状況を示す場面ごとにイラストを示している。(P118) ・ 2年「備えあれば」では、主題を考えるための材料として、図やグラフ、吹き出しを示している。(P174)	・ 1年「この人生の主人公」では、資料の末尾に色付きの枠囲みで、学習の手掛かりや話合い活動の要点を示している。(P5) ・ 3年「ベビーカー論争」では、主題を考えるための材料として、本文の内容に関する調査結果をグラフで示している。(P124)	・ 1年「ペーパーバード」では、本文は無く、想像力を膨らませるようなイラストのみを示している。(P130) ・ 2年「こんなとき、どうしたらいいの？」では、街中で障害のある人が困っている状況を表したイラストと吹き出しを示している。(P97)
参考	国旗・国歌の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	性差と家族に関する表現	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	オリンピック、パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり

特別の教科　道徳（肢体不自由・病弱特別支援学校／中学部）

発行者の番号 略　　称		2 東書	11 学図	17 教出	38 光村	116 日文	224 学研	232 廣あかつき	233 日科
内容	肢体不自由・病弱のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる教材等について ① 肢体不自由や病弱の理解に関わる記述があるもの ② 学校生活などでイメージしやすい身近な教材を取り上げているもの	☆☆☆　38 ① 2年「左手でつかんだ音楽」では、上肢に障害のある人の様子を取り上げている。(P36) ② 1年「忘れ物」では、日常の忘れ物についての考えを取り上げている。(P152)	☆☆☆　44 ① 2年「『これ以上、がんばれない。』って平気な顔で言うな。」では、車椅子ランナーについて取り上げている。(P154) ② 1年「自分らしさとは」では、公開授業について取り上げている。(P68)	☆☆☆☆　50 ① 1年「ショートパンツ初体験inアメリカ」では、デュアルスキーの選手のことを取り上げている。(P92) ② 2年「まだ食べられるのに」では、学校給食を取り上げている。(P19)	☆☆☆　47 ① 2年「アダプテッド・スポーツって何だろう」では、障害の有無に関係なく楽しめるスポーツを取り上げている。(P90) ② 3年「『知らないよ。』」では、文化祭の取組について取り上げている。(P29)	☆☆☆☆　64 ① 3年「No Charity,but a Chance!」では、障害者福祉に尽力した医師を取り上げている。(P28) ② 2年「ヨシト」では、学級での友達同士で会話する様子を取り上げている。(P122)	☆☆　23 ① 3年「スポーツの力 佐藤真海」では、陸上競技のパラリンピアンを取り上げている。(P160) ② 1年「クラスメイト」では、学級の人間関係を取り上げている。(P130)	☆☆☆　38 ① 1年「ある日のバッターボックス」では、小児麻痺の児童が野球をする様子を取り上げている。(P116) ② 3年「卒業文集最後の二行」では、卒業文集から学校生活を振り返る様子を取り上げている。(P36)	☆☆☆　34 ① 1年「オレは最強だ！」では、プロ車いすテニスプレイヤーの活躍を取り上げている。(P16) ② 3年「リョウとマキ～Stand by Me～」では、学校で友人と話している様子を取り上げている。(P73)
	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ① 視機能の障害や上肢の操作性等から学習活動に困難が想定されるもの ② 病気の治療などによる運動制限から、経験しにくい体験活動を扱った教材が取り上げられているもの ③ 各学年の生徒数が少ないため、集団活動が含まれるなど取扱いが困難と思われる内容が取り上げられているもの	★★★★　81 ① 2年「三つのいのちについて考える」などでは、記入欄が小さく、筆記に困難が想定されるため、取り扱う際には配慮が必要である。(P142) ② 3年「高く遠い夢」では、エベレスト登山について取り上げており、取り扱う際には配慮が必要である。(P90) ③ 1年「席替え」では、学級での話合い活動を教材として取り上げている。(P90)	★★★★　76 ① 1年「災害に備える」では、火災の様子が記載されており、取り扱う際には配慮が必要である。(P123) ② 1年「自然教室でのできごと」では、登山を取り上げており、取り扱う際には配慮が必要である。(P156) ③ 2年「私の存在」では、部活動での話し合い活動を教材として取り上げている。(P20)	★★★★　79 ① 1年「不自然な独り言」などでは、記入欄が小さく、筆記に困難が想定されるため、取り扱う際には配慮が必要である。(P27) ② 3年「僕は友達を裏切ったのか？」では、新入部員募集停止になった野球部を取り上げており、取り扱う際には配慮が必要である。(P10) ③ 1年「けやき中を誇りに」では、合唱コンクールに向けたグループ練習などを教材として取り上げている。(P86)	★★★　55 ① 3年「『落葉』ー菱田春草」では、作品説明の文と資料写真が別ページにあり、取り扱う際には配慮が必要である。(P170) ② 1年「自然教室での出来事」では、登山が題材として取り上げられており、取り扱う際には配慮が必要である。(P12) ③ 3年「ぼくの物語　あなたの物語」では、グループでの話合い活動が取り上げられている。(P66)	★★　40 ① 2年「包む」では、包む活動を教材としており、取り扱う際には配慮が必要である。(P158) ② 1年「疾走、自転車ライダー」では、自転車で疾走する少年を取り上げており、取り扱う際には配慮が必要である。(P68) ③ 3年「昔と今を結ぶ糸」では、修学旅行での班別行動についてのグループや学級での話合い活動を教材として取り上げている。(P22)	★★★★　66 ① 3年「スポーツの力 佐藤真海」などでは、記入欄が小さく、筆記に困難が想定されるため、取り扱う際には配慮が必要である。(P165) ② 1年「金色の稲穂」では、水田での米作りの様子が取り上げられており、取り扱う際には配慮が必要である。(P92) ③ 3年「私たちの合唱コンクール」では、全校で取り組む合唱コンクールを教材として取り上げている。(P108)	★★★　48 ① 全学年「別冊」の最終ページにある「心のしおり」は、罫線が無く、文章で記述していくことには困難が想定されるため、配慮が必要である。 ② 2年「加奈子の職場体験」では、職場体験を取り上げており、取り扱う際には配慮が必要である。(P77) ③ 1年「銀色のシャープペンシル」では、合唱コンクールの練習の様子を教材として取り上げている。(P124)	★★　35 ① 3年「西田幾多郎」では、写真上に文字が書かれており、取り扱う際には配慮が必要である。(P27) ② 1年「いつもいっしょに」では、バレーボールの部活動を題材にしており、取り扱う際には配慮が必要である。(P47) ③ 3年「学校や学級集団の一員として」では、多人数の話合い活動を教材として取り上げている。(P125)
構成上の工夫	その他 障害の状態に応じた事項 ① 外出等の社会的経験の不足を補えるように、写真、図絵等の視覚情報での説明がなされているもの ② 通院等による学習期間の空白を補えるように、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されているもの ③ ページをめくる等の動作が難しい場合があるため、見開きページで学べるようになっているもの	① 1年「火の島」では、地図や火山の実際の様子を、大きな写真で示している。(P113) ② 2年「みんなでとんだ！」など、資料の冒頭に本文の簡単な解説を示している。(P82) ③ 3年「人間の命とは―人間の命の尊さ・大切さを考える」では、見開き2ページで、資料と問いを整理して示している。(P74)	① 2年「命を救う防災」では、津波が押し寄せている様子を写真で示している。(P216) ② 1年「誰も知らない」など、全学年の全ての資料の末尾に、資料について考えてほしいことを示している。(P13) ③ 1年「さあ、楽しい夏休み！」など、夏休みの過ごし方について、見開きページで示している。(P82)	① 2年「海と空～樫野の人々～」では、本文の内容に即した地図、当時の新聞記事、複数の写真などを示している。(P129) ② 1年「あなたが　うまれた　ひ」など、全学年で各資料の冒頭と末尾に、思考を深めるための問いを示している。(P6) ③ 1年「最強の敵　最大の友」など、取り上げる資料の長さによって、見開き2～4ページで示している。(P64)	① 2年「カラカラカラ」では、電車の中や駅のホームの様子をイラストで示している。(P45) ② 3年「小さな出来事」など、全ての単元の冒頭に、教材のテーマが記されている。(P13) ③ 2年「『いじめ』と『いじり』」などのコラムは、見開きで示している。(P68)	① 1年「木の声を聞く」では、藤の木を、クレーンで運ぶ写真で示している。(P119) ② 2年「盲導犬になるまで」など、要所に学習内容の理解を助けるコラムを示している。(P25) ③ 2年「『自分』ってなんだろう」など、要所に学習の進め方を見開きで示している。(P82)	① 2年「星置きの滝」では、滝が流れる様子を、写真で示している。(P89) ② 2年「旗」など、全学年のほとんどの資料の末尾に、「クローズアップ」などとして、資料との関連情報や視点の異なる関連情報が示されている。(P19) ③ 1年「日曜日の朝に」など、全学年のほとんどの「クローズアップ」では見開き2ページ以内で示している。(P90)	① 3年「高砂丸とポトマック川のこと」では、救助活動の様子について写真で示している。(P134) ② 1年「この人生の主人公」など、全学年の全ての資料の末尾に、学習の手掛かりを示している。(P5) ③ 1年「情報機器によるコミュニケーションを考える」では、資料を見開きで示している。(P174)	① 1年「希望の風に」では、山なみの風景を写真で示している。(P138) ② 1年「命をつくるもの」など、各教材の末尾には、その教材の考えを深めてほしいポイントが、強調された色付き囲みで示されている。(P15) ③ 3年「ニュースで討論『支え合いは当たり前』」では、障害による差別の解消について討論する様子を見開きで示している。(P90)
参考	国旗・国歌の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	性差と家族に関する表現	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	オリンピック、パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり